

2/14 賃上げ要求提出

統一要求15,000円

国労東北自動車支部

ジェイアールバス東北株式会社
代表取締役社長 吉田 豊 殿

国労仙地申 第20号
2017年2月14日

国鉄労働組合仙台地方本部
執行委員長 大沼 元

2017年4月1日以降の賃金改善等について

財務省が昨年12月1日に公表した「2016年7～9月法人企業統計」によると、資本金10億円以上の大企業がため込んだ内部留保は317兆841億円の過去最高となり、大企業は儲かった利益を株主配当や内部留保にまわして、設備投資や労働者への還元には消極的な姿勢をとったため、安倍首相自らが経済団体に賃上げ要請をする異例の事態となっています。

賃金構造基本統計調査によればバス運転者の年間所得額が全産業平均を下回り、離職率の高い職業の一要因となっていることが指摘されています。2016年4月1日以降の新賃金改訂において賃金改善が見送られ社員・家族から落胆する声が多く寄せられました。

国鉄労働組合が昨年実施した「2016年度賃金と生活実態アンケート調査結果」では、毎月の生活費が3万5千円以上赤字を余儀なくされる中で、期末手当や預貯金から毎月の赤字を補っています。賃金引き上げは、私たちの生活を維持や景気の好循環を生み出すうえで不可欠です。

1年365日昼夜を問わずJRバス東北の安全・安定輸送を維持・向上させ、最前線で頑張っている社員の労苦に報いるべきと考えます。

JRバス東北の経営は順調に推移し、内部留保金はすでに60億円を超えている状況です。2017年4月1日以降の賃金改善等について、下記の通り申し入れますので、速やかに団体交渉を開催し、誠意ある回答を強く求めます。

記

1. 2017年4月1日以降の賃金を15,000円(所定昇給は別)引き上げること。
2. バス社員の運転手当に135円を加算すること。
3. 2017年4月1日以降の契約社員の日額を650円引上げ、地域間格差を是正すること。
4. 第2基本給を廃止すること。
5. 貸切加給を30円から80円に引き上げること。
6. 契約社員の特殊作業手当を500円引き上げること。
7. 回答は、3月15日までとすること。

2月14日(火)支部は、JRバス東北会社に対し「2017年4月1日以降の賃金改善等について」の申し入れを行いました。バス社員150

00円と契約社員の基本日額650円引き上げが柱となっています。東日本本部は、13日、全国統一行動として要求書を提出済みです。

発責
北山修司
編責
教宣部
NO,110
2017.2.20

2017春闘スタート/職場・地域から闘い抜こう!

国労加入
で職場を
変えよう

5年連続の「官制春闘」を許さず職場・地域から春闘を闘い抜こう!

賃金改善は急務な課題

厚生労働省の賃金構造統計調査によるとバス運転者と男子常用労働者の賃金を比較してみると規制緩和直前の1999年はバス運転者が年収で平均より高く538万円だったのが、2010年には384万円まで3割も下がっています。中には年収200万円台の運転手も少なくありません。その結果、賃金不足分を補おうと休日出勤が多くなり長時間労働が蔓延し、軽井沢スキーバス事故という最悪の状況を招くことになっています。今、日本では大きく分けて140種類ぐらいの仕事があると言われていますが運輸業界はその底辺にあります。

ペアゼロを打ち破ろう

今、「同一労働同一賃金」が叫ばれています。今年こそ3年連続のペアゼロを打ち破らなければなりません。内部留保を吐き出させ、利益還元で働き続けられる職場をつくらう!

国労東北総決起集会
3月3日(金) 12時
仙台市・ホテル法華クラブ